プレスリリース

2009年10月30日
独立行政法人海洋研究開発機構

講演会「再来が危惧される巨大津波－紀州ではどのように備えるのか－」の開催について

独立行政法人海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）は、文部科学省委託事業「東海・東南海・南海地震の連動性評価研究」の一環として、紀伊半島特有の地震リスクについて、最新の研究成果を明らかにするとともに、住民への防災意識向上を図るため、下記により講演会を開催しますのでお知らせいたします。

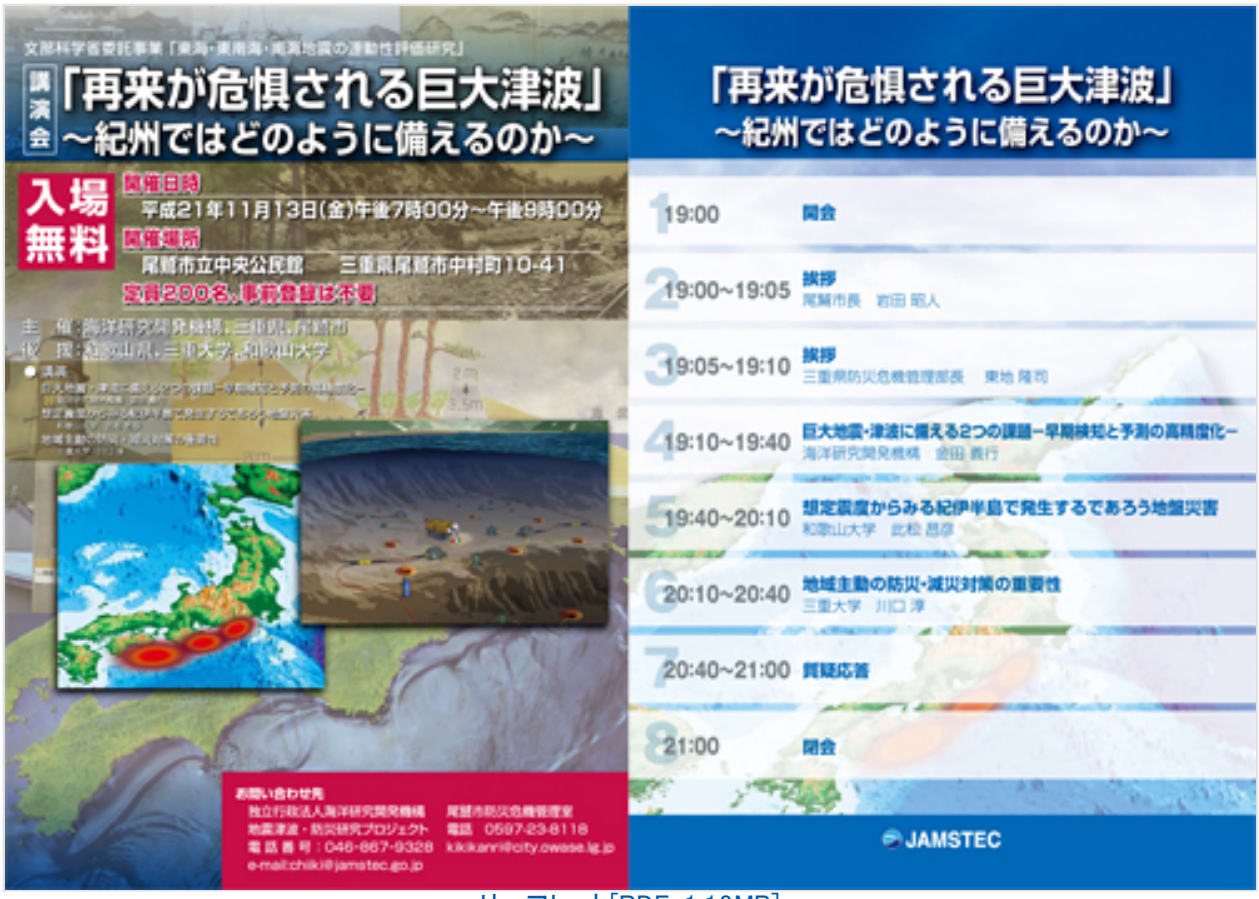
記

1.日　時　　：平成21年11月13日（金）19：00～21：00（開場18:00）
2.会　場　　：尾鷲市立中央公民館（三重県尾鷲市中村町10-41）
3.入場料　　：無料（事前登録不要）
4.主　催　　：海洋研究開発機構、三重県、尾鷲市
5.後　援　　：和歌山県、三重大学、和歌山大学
6.プログラム：別紙参照

別紙

講演会「再来が危惧される巨大津波－紀州ではどのように備えるのか－」
プログラム

19：00	開　会
19：00～19：05	挨　拶
	岩田　昭人（尾鷲市長）
19：05～19：10	挨　拶
	東地　隆司（三重県防災危機管理部長）
19：10～19：40	「巨大地震・津波に備える2つの課題－早期検知と予測の高精度化－」
	金田　義行（海洋研究開発機構　地震津波・防災研究プロジェクトリーダー）
19：40～20：10	「想定震度からみる紀伊半島で発生するであろう地盤災害」
	此松　昌彦（和歌山大学教育学部　教授）
20：10～20：40	「地域主動の防災・減災対策の重要性」
	川口　淳（三重大学大学院工学研究科　准教授）
20：40～21：00	質疑応答
21：00	閉　会



リーフレット[PDF：1.18MB]

お問い合わせ先:
独立行政法人海洋研究開発機構
（講演会について）
地震津波・防災研究プロジェクト
支援グループリーダー　米倉　司郎　（報道担当）

経営企画室　報道室長　中村　亘